

# しんぎょう

浄土真宗本願寺派（西本願寺）

## 真楽寺報

令和四年十一月

浄土真宗に帰すれども

真実の心はありがたし

虚仮不実のわが身に

清浄の心もさらになし

（浄土真宗のみ教えに帰依しています  
が、私に真実の心はありません。虚し  
い嘘偽りの不真実のこの身には、清ら  
かな心は全くありません。）

（親鸞聖人『悲歎述懐讚』）

「あなたの御宗旨はなんですか。」とお尋ねすることがあります。いきなりこのような質問は失礼でしょうが、話の流れでつい聞いてしまうのです。そうすると、仏教の宗派、あるいは各宗教、または教派の名前をお答えになる事もあります。若し方の多くはわからないと仰る方が多いのが現状です。いえ、私の知るところで半世紀くらい前から似たようなものだったかもしれません。ご法事など諸々の必要があつて初めて我が家

して生きること、浄土真宗に帰すると表現されているので

す。しかし、阿弥陀如来のはたらきを旨にして生きるとは、自身が清浄真実になる事ではありません。「煩惱具足の衆生は、もとより真実の心なし、清浄の心なし、濁悪邪見のゆるなり」と親鸞聖人が仰るとおりの、虚仮不実が私の姿です。清く正しく美しく生きる教育を受けてきた私たちですから、善人の姿、賢人の姿を身にまとうことは覚えませんでした。が、そのおおいの中でいっばい欲ばつて、腹立てて、愚痴を重ね、時には失敗してその毒を表に出しては人を苦しめ、そうして自ら痛んできたものです。この不真実不浄に苦悩する衆生のためにこそ、如来の真実清浄のはたらきがありました。それが万善万徳を備えたお念仏です。

お念仏申す時、如来の真実清浄の功徳をいのちに響かせて、凡夫が凡夫のままにさとり道を歩むすがたになります。さらには、生活の全てが仏恩に対する報謝の営みになるのです。

如来から施された信心が、いのちのより所となると、如来様中心の生き方が見えてきます。

新聞に掲載されていたことですが、経済学者のブランコ・ミラノビッチという人が、「グローバル化が進んだ商業活動の論理では『法律違反でなければOK』が共通の前提」と言っていました。格差研究の第一人者と言われるミラノビッチ氏は、「自己の内なる道徳や社会の望ましいあり方に対する信念を失い道徳や法律などを『外部委託』してしまう」今の資本主義の現状を指摘しています。経済学の話は私にはわかりませんが、「法に触れなければ何でもやれる」という意識が、世界の諸問題の要因でしようし、行動の規範を「外部委託」することは、自分の人生そのものに無責任になることではないかと思えます。

親鸞聖人が『悲歎述懐讚』と言う一連の御和讃を著されているのは、不真実不浄をただ嘆くのではなく、煩惱具足を言い訳にするのでもない、この身にこそ施された阿弥陀如来の誓願であると喜ばれているのです。

## ◎秋の法要のお知らせ

左記の通り『秋の法要』をお勤めします。

御講師は、大阪・西法寺住職、行信教校講師の星野親行先生をお招きしています。

お誘い合わせてご参詣下さい。

記

一、日時

十一月十九日(土)

午前九時半～十一時半

聞信のつどい

午後二時～四時

納骨堂永代経法要

十一月二十日(日)

午前九時～九時半

初参式

午前十時～十一時半

聞信のつどい

一、御講師

行信教校講師

星野親行師

(大阪府豊中市・西法寺住職)

☆『聞信のつどい』

真楽寺が大村に御教化の営みを始めましてから三十九年の年月がたちました。そして、これまでに沢山の御門徒の皆様が、真楽寺にご縁を結んで下さいました。様々なご事情、それぞれに異なる歴史をかかえる皆様が、真楽寺のひと

つの本堂に集われる姿は、本当に不可思議なご縁のはたらきとしか表現のしようがありません。

ここに共に会えた事はそれぞれ、のいのちに連なる無数の先達や、法友のおはたらきがあったことでしよう。その御恩を蒙って、また、私たちも後の人々の法縁を紡ぐはたらきの中にあるのだと思います。この仏法に出会い、み教えを聞き得たこと、そして、御報謝の営みを慶ぶ法要として『聞信のつどい』をお勤め致します。ご家族、法友、お誘い合わせてご参詣、お聴聞下さい。

☆『納骨堂永代経法要』

納骨堂にご縁の方全ての仏徳を讃嘆供養する法要をお勤めします。納骨堂をご利用でない方も、どうぞ、ご一緒にお聴聞下さい。

☆『初参式』 はつまつり

赤ちゃんが生まれてきて最初のお参りです。

仏様のお慈悲に包まれて生きていく子供、そしてその親、あるいは祖父母としての新たな人生の出發を、如来様に奉告する式です。

受式のお子さんを募集しています。御希望の方は十一月十三日(日)までに真楽寺にご連絡下さい。

※秋の法要に向けて境内本堂のお掃除をします。ご都合つかれる方はご協力下さい。

十一月十六日 堂内掃除

御命日法要後 十時半から

◎富の原真楽寺(富の原一・四三二・四)

報恩講のお知らせ

左記の通り、富の原真楽寺においてお取り越し報恩講をお勤め致します。近隣の方はご参詣下さい。(駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用の上ご参詣下さい。)

記

期日 十一月二十日(日)

午後二時より

御講師 星野親行師

◎年末の行事のお知らせ

☆年末大掃除・餅つき

十二月二十五日(日)

午前九時から

コロナウイルス感染症の状況によっては、餅つきは中止にすることも考えています。

中止の際は、改めてお知らせ致します。

☆除夜会

十二月三十一日(土)

午後五時より一時間

◎令和五年一月の行事のお知らせ  
☆元日会

令和五年一月一日(日)

午前十時より一時間

☆仏具おみがき

期日 一月八日(日)

午前九時から十一時まで

☆親鸞聖人御正忌報恩講

期日 一月十三日(金)から

十六日(月)まで

時間 午前九時半より

尚、十五日は午後七時より

大速夜のお勤めもあります。

毎月の行事案内(一月、八月を除く)

◆月例法座

毎月第一日曜日 午前九時半より

◆家族礼拝

毎月第二日曜日 午前九時より

◆親鸞聖人御命日法要

毎月十六日 午前九時半

◆門徒会御法義歓談会

毎月十六日 御命日法要に引続き

但し、今月は本堂の掃除を行います。

◆聞信会

毎月第二土曜日 午後二時より

『正信念仏偈』を味わいます。

今月(十一月)の

聞信会はお休み致します。

大村市木場一丁目八五番地二  
真楽寺 電話五二一五〇一八